

日本ロシア文学会・日本スラヴ学研究会共同企画

木村彰一先生生誕百周年記念シンポジウム



2015年6月6日(土) 2時〜6時

東京大学文学部法文2号館2階2番大教室

プログラム

司会 服部文昭 (京都大学)

14:00—14:10

開会挨拶

望月 哲男 (日本ロシア文学会会長)
土谷 直人 (日本スラヴ学研究会会長)

14:10—15:40

第Ⅰ部 「『師』としての木村彰一先生」

坂倉 千鶴 (外務省研修所) / フィロロジストのまなざし
澤田 和彦 (埼玉大学) / 早稲田と木村先生と『オネーギン』
岩井 憲幸 (明治大学) / 『コンスタンティノス一代記』訳註の頃

15:40—16:00 休憩

第Ⅱ部 「今に生きる木村彰一先生」

中村 唯史 (京都大学) / ロシア文学者としての木村彰一先生
小椋 彩 (東京大学) / 木村訳で読むポーランド文学の愉しみ
大平 陽一 (天理大学) / 木村先生とロマン・ヤコブソン

全体討論

閉会の辞

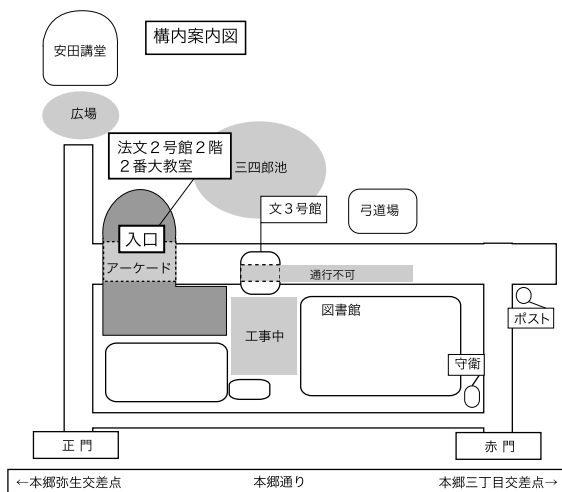
長與 進 (早稲田大学)



16:00—17:00

17:00—17:50

17:50



開催日時：2015年6月6日(土) 14:00～18:00

場所：東京大学文学部法文2号館2階2番大教室
(本郷キャンパス)

問い合わせ

tridoline@mail.goo.ne.jp

slav@l.u-tokyo.ac.jp (三谷恵子)

木村記念シンポジウム実施委員会

阿部 賢一・中村 唯史・長與 進・服部 文昭・三谷 恵子